

賀露地区 地域づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 平成30年11月30日（金）19:00～20:20
- 2 場所 賀露地区公民館
- 3 出席者 地区出席者 33名
市出席者 3名（深澤市長、平井環境局長、安本地域振興局長）



4 テーマ 賀露のまちづくりを考えましょう

5 概要

（地元あいさつ）

賀露地区には様々な課題があり、最近になって西浜区画問題が解決した。臭気問題についてはいくらか良くなってはいるものの、夜間に若干臭いがするため、今後も努力していくことが大事である。

また、ツインポートの取組みで、鳥取空港と賀露港をつなぐ県道が今年の春に開通した。今後、観光面で賀露が発展していくように頑張っていきたい。

最後に、北前船寄港地として、賀露と青谷が日本遺産に認定された。鳥取市には大変尽力いただいたことに感謝するとともに、これから誇りを持ち、生きる糧としていきたい。

（市長あいさつ）

西浜区画整理事業、養鶏場の臭気問題等、賀露地区の皆さんにはご負担をおかけしてきました。ご協力いただいたことに改めて感謝申し上げたい。

臭気問題については、年々軽減されている状況ではあるが、これからも事業者を支援しながら、臭気の原因を突き止め、効果的な対策を講じていきたい。

ツインポートの取組みで、今年3月に、かっこロードが完成した。空港と港が近接して

いるところは全国的にも珍しく、活用していきたい。また、北前船寄港地の日本遺産認定も広く発信していきたいと考えている。

これからも皆さんと一緒に頑張って賀露地区、鳥取市のまちづくりを進めていきたい。

賀露地区の取組みの説明

<テーマの背景>

当地区では、自治会等の各団体が毎年事業を企画立案し取組んでおり、これまで各団体単位での事業の見直しは行ってきたが、「今の事業が地区の将来の課題や現在の問題に対応しているのか」、「地区住民が本当に望んでいる事業なのか」、を地区全体として考えたことはなかった。また、地域コミュニティ計画作成の際に実施した住民アンケートの結果を具体的な施策に落とし込めていない現状もある。

住みよいまちづくりを考えるうえで、臭気問題を長年の懸案事項として挙げているが、それに限らず、地域の課題の解決に向けて取組みを進めようとしている。

<地域の取組み>

賀露地区の課題解決に向けた具体的な取組みとして、平成30年5月にまちづくり協議会の各団体の長、自治会執行部を中心にした、「賀露町の課題・問題を語る会」を立ち上げた。

最初の全体会では、地区が抱える課題・問題について洗い出しを行った。その後、全体会で出された課題・問題について、①安全・環境、②高齢者、③区の再編の3つのテーマに分け、各分科会で課題の整理・検討を行った。

今後は、2回目の全体会で各課題の優先順位を設定し、各分科会で対策を練る委員を選び、早期に取りかかれるものは平成31年度から事業に向けてできるところから取組んでいく予定としている。

(地元)

賀露町の課題・問題について、①安全・環境のテーマでは、津波対策が大きな課題としてあがっている。また、消火訓練の実施や機器の点検を行っていく必要がある。その他、通学路の安全対策、道路照明の必要性、道路の拡張整備等があがっており、課題の緊急度に応じてランクづけをしている。

②高齢者のテーマでは、夜間の一人歩きの対応、車を運転できない方のために循環バスを運行できないかといった課題があがっている。

③区の再編のテーマでは、一部の世帯が、各戸の希望に応じた町内会に加入する状況にあり、地域としてのまとまりに欠け、対応しづらい。災害時の対応も難しくなることから、地区のあり方、地域割りを考えていかなければならない。組織面においては、社会福祉協議会と自治会の関係、まちづくり協議会と自治会のあり方について課題があがっている。

賀露町の課題・問題を語る会は立ち上がったばかりだが、鳥取市と協働で解決できるような課題については、一緒に頑張って進めていきたいと考えている。

(市長)

臭気対策については、ジェイエイ畜産、地元の皆さん、鳥取市が一緒になって問題解決に取り組んでいる。臭気指数の基準を厳しくする見直しを行ってきたが、未だ臭気が気になる状況が発生している。発生のメカニズムについては大学に調査研究をお願いしている。効果的な臭気対策があれば、事業者に取り入れていただき、必要に応じて鳥取市としても支援を行いたい。事業者と地域の皆さんがコミュニケーションを図れる状況が大事だと思っているので、鳥取市としてもできる限りの支援を行っていききたい。

(環境局長)

臭気発生のメカニズムについて、昨年度、鳥取環境大学に調査研究を依頼した。その結果、次のことが想定されることがわかった。夏場の昼間は海風や、地表が温められて発生する上昇気流により臭気が拡散する。夜、19時頃になると風が弱まるため、地上付近に滞留し、夜が更けるにつれ、養鶏場からあふれて、丘を越えて流れていくのではないかとということである。今年度も自主研究という形で調査をお願いしており、その結果は1月の臭気対策会議で報告いただけると思っている。

臭気対策として、ジェイエイ畜産は、鶏ふんの処理方法、飼料等の改善を行っておられるが、鶏自体のにおいについては簡単に消すことができないと思う。今年の春に、防風ネットを実験的に設置してみたところ、かなり効果がありそうだとということがわかった。改良を進め、来年度の実施に向けて検討していききたい。

(地元)

地域としても、ジェイエイ畜産の企業努力により臭気が抑えられていることは理解している。鶏ふんについては臭いが低減しているが、鶏自体の臭いが抑えられないため、特に夜間には臭気を感じている。できることをしていただいているのはありがたいが、このままでは根本的解決にはならない。

(市長)

ジェイエイ畜産にも様々な企業努力をしていただいている。鳥取市としても、防風ネットの設置等、いろいろな対策を考え、少しでも臭いが軽減できるように支援を行いたい。

(司会)

賀露町の課題・問題を語る会の活動に関して、市からご意見をいただきたい。

(市長)

賀露地区が挙げておられるテーマは、多くの地区で共通の課題となっているものであり、各地区が特性を生かした取り組みを行っておられる。ご一報いただければ、担当課が出向き、他地区の実例等も紹介しながら、課題解決に向けて一緒になって取組ませていただきたい。

（地域振興局長）

鳥取市が、平成20年度に協働のまちづくりの取組みを始めてから10年が経過したが、各地域には様々な課題が出てきている。市としてもまちづくり協議会等の地域組織のあり方について検討を進めている一方、今年度からモデル地区ということで2地区に地域組織のあり方を検討していただいている。来年度も引き続きモデル地区を募集したいと考えており、賀露地区からも手を挙げていただけたらありがたい。

（地元）

子どもや女性等を守るために、不審者情報を周知することは大事であり、鳥取県ではあんしんトリピーメールやまちcomiメールを通じて情報提供されている。学校が不審者情報を得た時に、どのレベルの情報を提供するかは、現状各学校長の判断であるとのことだが、市として一定の基準づくりができないだろうか。

（市長）

不審者は、誰が見ても一目瞭然というわけではないため、基準づくりは難しいと思う。不審だと思われる状況があれば、ご一報していただくことが肝要であるので、教育委員会を通じて各学校長と認識を共有したい。

（学校教育課補足）

不審者に対する情報提供の基準づくりについては、全市一定の基準を設けることは難しいと考えます。教育委員会としましては、各学校に対して、不審者と思われるればあらゆる状況を想定し、知り得た情報を保護者へしっかり発信していくよう周知しています。あわせて、教育委員会が得た情報については、全ての学校へ情報提供しています。

（地元）

災害時の避難経路に危険な状態の空き家がある。個人所有のものであり対応が難しいとは思いますが、良い対処方法はないだろうか。

（市長）

老朽化が著しい危険な空き家については、個人資産であるため以前は行政での対応が難しかったが、空家等対策特別措置法ができたことにより、非常に危険な空き家については行政が代執行を行い解体撤去することが可能になった。基本的には所有者責任で対応いただくが、所有者が不明で危険である場合は、建築指導課にご一報いただければと思う。

（地元）

賀露町の課題・問題を語る会で市と一緒に検討したい場合、どこに相談したら良いか。また、挙げている課題・問題について、はじめに市の考え方を聞いたら、地域で検討する一助となると思うのでお願いしたい。

(地域振興局長)

協働推進課が窓口となり相談を受け、具体的な検討事項については担当部署の職員が出席し、情報提供を行う形になると思う。他地域の参考事例についても、協働推進課にご相談いただければと思う。

(市長)

内容が非常に多岐にわたっているため、できるところから順次という形になるかと思う。

(地元)

地域によって自治の状況は異なっていると思うが、その中でも賀露地区は自治会がしっかりしている。まちづくり協議会について補助金が出るため設置はしているものの、必要ないのではと思う。まちづくり協議会が設置されていなくても、同種の目的の団体であれば補助金を出す等、柔軟な制度にできないだろうか。

(市長)

鳥取市は、平成20年度を協働のまちづくり元年と位置付けし、自治基本条例を施行した。同時に、まちづくり協議会の設置を提唱したが、地区によっては既にしっかりした組織が存立していた。補助金についても、担当課が複数ありわかりにくいという話も伺っている。これまでの取組みを検証しながら、地域の皆さんに柔軟に組織運営を行っていただこうと、今年から2地区でモデル地区として取り組んでいただいている。地域の特性や持ち味に応じ、柔軟に制度運用していただくことは非常に大切なことであると考えている。

(地域振興局長)

組織の目的、活動内容に応じて柔軟に考えていく必要があるかと思う。今後の検討の参考とさせていただきたい。

(地元)

観光協会では、十数年前から賀露海水浴場を開設しているが、近年、収益が下がってきている状況である。ツインポートの活性化ということで、県や市が取組みを行っているが、観光客向けの海水浴場についてもご相談に乗っていただけたらと思う。

(市長)

近年、海水浴客が減っている状況にある中、観光協会には運営等頑張っていただいている。かにっこロードが今年3月に開通し、ツインポートを生かしてにぎわいを創出していく時期にあるので、またお話を聞かせていただき、一緒になって取組ませていただきたい。

(地元)

賀露地区に小型バスを運行してもらうためには、地域の需要等を調査し、市に報告したほ

うが良いだろうか。

臭気問題の最終的な解決方法は、施設の移転しかないと思う。移転費用は約10億円ということだが、これまでにつぎ込んできた設備投資代も億単位になっているのではないかと思う。大江ノ郷のように卵をブランド化し、環境の良いところで質の良い卵を産んでもらったほうが良いのではないだろうか。

(市長)

昨今、全市的に路線バスの便数が減り、不便になるため利用者が更に減るという悪循環になっており、大きな課題になっている。地区に対して、バス需要等のデータを提出していただくことまではお願いしていないが、公共交通空白地有償運送とあって、車両購入費や運行に関する経費の一部について支援を市が行い、運行を地元でしていただく制度もある。ただ、賀露地区には路線バスが通っているため、そこまではと思うが、いずれにしても、人口減少、高齢化が進む中、生活交通の維持、確保は大きな課題であり、しっかり取組んでいかなければならないと思っている。

臭気対策として、様々なことを行っているが、完全に臭気をゼロにすることは難しい。移転についても内部検討は行っており、国の支援事業を利用する等の方法が考えられる。ジェイエイ畜産に検討いただく必要はあるが、課題解決の一つの方法だと思う。また、卵は大量生産しないと収益が安定的に確保できないため、20万羽以上の鶏を確保する必要がある。臭気が気にならない場所で生産していただくことも方法の一つだが、現時点では難しいと思う。

(地元)

市の補助金をいただき、賀露町5区町内会の集会所を移転することになっている。現在の集会所は立地条件が良く、行事等に際しては休憩所やトイレに使用してきた。今後も、ツインポートの活用、かろいちの利用等で何万人もの方が来られるが、賀露地区の中心部にはトイレがないため、集会所跡地を利用してもらおう等、何か良い方法がないか検討している状況である。

(市長)

賀露地区は、ツインポートの活用、北前船寄港地の日本遺産認定等もあり、これからより多くの方に来ていただけるまちになると考えている。公衆用トイレが地区の中心にあったら良いという気持ちもわかる。米倉の丘を公園にしていくという構想もあったりするので、地域のみなさんと一緒になって検討していきたい。提案として受けとめる。

(地元)

行政はツインポート活用を図っておられるが、鳥取空港には鳥取港のパンフレットや標示がほとんどない。県の施設ではあると思うが、観光面で市にも関係あると思うので、ツインポートを生かす宣伝を鳥取空港内に設置してもらおうよう市から県に要望していただきたい。

(市長)

ツインポートの取組みの上で、鳥取空港に来られた方に鳥取港に寄っていただくために、資料を置いたり標示を設置することは大切だと思う。県にお伝えしたい。

(交通政策課補足)

ツインポート懇談会、空の駅推進検討会等の機会を捉えながら、いただいた要望について、県に伝えたいと思います。

(地元)

災害時や救急車進入のために道路を拡幅してもらおうよう、以前市に要望したが、道路用地費は地元負担が条件だということで頓挫していると聞いている。

(市長)

道路拡幅する場合に、拡幅に係る土地を提供していただいたらスムーズにいくが、賀露の防災道路については大事業であるため、市の事業として取り組むべきだと考えている。

(市長あいさつ)

賀露町の課題・問題を語る会を立ち上げられたということで、市も一緒になって賀露町、鳥取市のまちづくりを進めていきたい。何かあれば、窓口である協働推進課まで相談いただければと思う。

現在、山陰近畿自動車道の結節点になる、鳥取から福部IC間のルート整備について国土交通省が検討されている。賀露地区のまちづくりにも非常に深くかかわる道路であると思っているので、皆さんと一緒に進めていきたい。